

議案第1号

令和3年度 事業報告について

事業概要

令和3年度は、前年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により、公共施設等の利用制限などがかかり、2年連続で定時総会をはじめ多くの事業が従来どおり開催できないという状況が続きました。加えて社会経済活動の停滞などにより事業面でも大きな影響を受けました。

また、入会会員が少なかったことや退会会員の増加により、近年にない慢性的な会員不足の状況が続きました。加えて会員の高齢化が進んでいることから、事業を請け負うことのできる会員が不足するなどの影響も受けています。

コロナ禍という今まで経験したことのない社会状況に加え、各種事業の制限、会員の減少や高齢化、後継者不足など厳しい状況が続いていますが、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会の維持・発展に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりの場として重要な役割を担っていますので、役職員や会員が一丸となって、第四次中期（5か年）計画に沿い、その実現に取り組んでまいりました。

最重要課題である**会員の拡大**については、会報「シルバー須高」やホームページの活用、高齢者活躍人材確保育成事業の活用、入会説明会開催回数の増、入会の迅速な承認、地域班や会員の口コミによる「会員ひとり1会員拡大」活動など多様な方策を行ってまいりましたが、退会者の増加などもあり、**会員数**は3月末で611人となり、前年度末会員数との比較では34人の大幅な減となっています。

事業面では、請負・委任事業においてコロナ禍による事業減少の影響のほか、会員不足や高齢化の影響もあり、事業収入は289,355千円で、前年度同期比2.5%の減となりました。受注件数は、3,439件で138件の減、就業率は89.0%となりました。

派遣事業については、請負業務の拡大などもあり契約額は28,853千円となり、前年度同期比7.0%の増、受注件数は20件となりました。

この結果、請負・委任及び派遣事業の収入などの合計は318,208千円で、前年度同期比1.7%の減となりました。

安全就業につきましては、事故件数は傷害・賠償など合わせて4件で、前年同期と同数となりました。

コロナ禍により、「安全就業推進大会」が中止となり、事故を未然に防ぐための危険予知訓練（KYT）なども十分には実施できませんでしたが、安全ニュースの発行や作業現場の確認の徹底等により、安全就業の推進に取り組んでまいりました。

なお、病気などにより退会される会員が増加してきておりますので、高齢化への対応とともに会員自らの日頃の健康管理が重要となっています。

以下、主な事業等について報告いたします。